

平成 20 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況

平成 20 年 1 月 29 日

上場会社名 エプソントヨコム株式会社

上場取引所 東証一部

コード番号 6708

URL <http://www.epsontoyocom.co.jp/>

代表者 代表取締役社長 宮澤 要

TEL : (042) 581-1707

問合せ先責任者 取締役 A & F 統括部長 滝澤 享

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 3 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 12 月 31 日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20 年 3 月期第 3 四半期	74,361	5.4	6,633	27.5	11,433	2.5	7,420	8.5
19 年 3 月期第 3 四半期	70,563	-	9,151	-	11,155	-	6,839	-
19 年 3 月期	92,842		10,976		13,693		8,624	

	1 株 当 た り 四半期(当期)純利益	潜在株式調整後 1 株当たり 四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
20 年 3 月期第 3 四半期	40.92	39.54
19 年 3 月期第 3 四半期	38.83	36.43
19 年 3 月期	48.66	45.94

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20 年 3 月期第 3 四半期	104,540	51,527	49.3	284.18
19 年 3 月期第 3 四半期	102,094	43,468	42.6	241.24
19 年 3 月期	99,127	45,920	46.3	253.21

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20 年 3 月期第 3 四半期	10,891	11,058	102	23,650
19 年 3 月期第 3 四半期	11,564	4,896	550	25,770
19 年 3 月期	14,142	8,238	1,624	23,952

2. 平成 20 年 3 月期の連結業績予想（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）【参考】

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通 期	100,000	7.7	9,000	18.0	14,500	5.9	9,500	10.2	52.38

上記予想は平成 19 年 10 月 30 日公表の業績予想と変更はありません。

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無： 無
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無： 有

[（注）詳細は、3 ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. その他をご覧ください。]

上記予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期における当社の業績は、携帯電話市場やデジタル家電市場の好調な需要に支えられ、売上高は前年同四半期を上回る実績を達成することができましたが、販売価格の下落や、原材料価格の高騰等の影響もあり製品のコストダウンが当初計画より遅れたこと、加えて堅調な市場動向をふまえ、増産と生産の効率化へ向けての体制の強化を図っており、費用等の負担が増加していることから営業利益は前年同四半期を下回りました。

一方、特別目的会社を活用した不動産流動化スキームの解消に伴い、匿名組合契約に基づく利益分配（営業外収益35億円）が発生したため、経常利益、当期純利益につきましては、前年同四半期を上回る結果となりました。

以上の成果として、売上高743億6千1百万円（前年同四半期比5.4%増）、営業利益66億3千3百万円（前年同四半期比25億1千8百万円減少）、経常利益114億3千3百万円（前年同四半期比2億7千7百万円増加）、当期純利益74億2千万円（前年同四半期比5億8千1百万円増加）となりました。

増加傾向にある需要にお応えするため、効率の高い生産体制の構築を図るとともに、付加価値の高い新製品の事業化をすすめるなど、今後の展開に備えた基盤強化を引き続き図ってまいります。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の資産合計は、前連結会計年度末（以下「前期末」という）と比べて54億1千3百万円増加して1,045億4千万円となりました。

流動資産は、557億2千1百万円（前期末比19億9千3百万円増加）であります。主な増加の要因は、受取手形及び売掛金の増加等によるものであります。

固定資産は、488億1千8百万円（前期末比34億2千万円増加）であります。主な増加の要因は、繰延税金資産が減少したものの有形固定資産の増加によるものです。

当第3四半期末の負債合計は、前期末と比べて1億9千3百万円減少して530億1千3百万円となりました。

流動負債は311億2千4百万円（前期末比76億4千7百万円増加）、固定負債は218億8千8百万円（前期末比78億4千1百万円減少）であります。有利子負債は、168億1千6百万円（前期末比18億3千4百万円増加）となりました。このうち長期借入金33億5百万円は一年内となり、流動負債に表示されております。

当第3四半期末の純資産合計は、当期純利益の計上、配当の実施等により前期末と比べて56億7百万円増加して515億2千7百万円となりました。

当第3四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは108億9千1百万円の収入となりました。これは税金等調整前当期純利益や減価償却費等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは110億5千8百万円の支出となりました。これは有形固定資産の取得による支出によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは1億2百万円の支出となりました。これは短期借入金が増加しましたが、長期借入金の返済による支出及び配当金の支払等によるものであります。

これらの結果、当第3四半期の現金及び現金同等物の残高は期首に比べ3億1百万円減少し、236億5千万円となりました。

3. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

該当事項はありません。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

(減価償却資産の減価償却の方法の変更)

法人税法の改正((所得税法等の一部を改正する法律 平成 19 年 3 月 30 日 法律第 6 号) 及び(法人税法施行令の一部を改正する政令 平成 19 年 3 月 30 日 政令第 83 号)) に伴い、当連結会計年度から、平成 19 年 4 月 1 日以降に取得したのものについては、改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

これに伴い、前連結会計年度と同一の方法によった場合と比べ、営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益はそれぞれ 96 百万円減少しております。

(追加情報)

当連結会計年度から、平成 19 年 3 月 31 日以前に取得したものについては、償却可能限度額まで償却が終了した翌年から 5 年間で均等償却する方法によっております。

これに伴い、前連結会計年度と同一の方法によった場合と比べ、営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益はそれぞれ 148 百万円減少しております。

(連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い)

「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(企業会計基準委員会平成 18 年 5 月 17 日 実務対応報告 第 18 号) が平成 20 年 3 月 31 日以前に開始する連結会計年度に係る連結財務諸表から適用可能になったことに伴い、当連結会計年度から同実務対応報告を適用しております。

これにより、利益剰余金が 27 百万円減少しております。

なお、これによる当連結会計年度の損益に与える影響は軽微であります。

四半期連結財務諸表等

連結貸借対照表

(単位 百万円)

区分	前連結第3四半期 (平成18年12月31日)		当連結第3四半期 (平成19年12月31日)		前連結会計年度 (平成19年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
(資産の部)		%		%		%
流動資産						
1 現金及び預金	14,777		13,656		11,959	
2 受取手形及び売掛金	18,218		19,705		16,577	
3 有価証券	10,993		9,994		11,992	
4 棚卸資産	7,366		7,017		6,650	
5 繰延税金資産	2,577		1,041		1,831	
6 その他	4,283		4,306		4,717	
流動資産合計	58,217	57.0	55,721	53.3	53,728	54.2
固定資産						
(1)有形固定資産						
1 建物及び構築物	11,777		11,606		11,870	
2 機械装置及び運搬具	17,221		18,530		17,929	
3 工具・器具及び備品	2,210		2,413		2,346	
4 土地	8,357		8,361		8,483	
5 建設仮勘定	954		5,545		1,402	
有形固定資産合計	40,521	39.7	46,457	44.4	42,032	42.4
(2)無形固定資産	440	0.4	356	0.4	443	0.4
(3)投資その他の資産						
1 投資有価証券	1,735		1,403		1,634	
2 繰延税金資産	899		-		1,006	
3 その他	335		654		335	
投資その他の資産計	2,969		2,058		2,976	
貸倒引当金	54		54		54	
投資その他の資産合計	2,915	2.9	2,004	1.9	2,922	3.0
固定資産合計	43,877	43.0	48,818	46.7	45,398	45.8
資産合計	102,094	100.0	104,540	100.0	99,127	100.0

(単位 百万円)

区分	前連結第3四半期 (平成18年12月31日)		当連結第3四半期 (平成19年12月31日)		前連結会計年度 (平成19年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
(負債の部)		%		%		%
流動負債						
1 支払手形及び買掛金	11,807		11,141		9,559	
2 短期借入金	4,626		8,741		4,434	
3 未払法人税等	89		1,415		155	
4 未払金	8,189		7,613		6,910	
5 賞与引当金	-		721		1,412	
6 その他	1,908		1,490		1,004	
流動負債合計	26,621	26.1	31,124	29.8	23,476	23.7
固定負債						
1 新株予約権付社債	3,200		2,700		2,700	
2 長期借入金	11,360		8,075		10,547	
3 退職給付引当金	8,133		2,148		7,825	
4 負ののれん	8,806		6,458		8,219	
5 その他	503		2,507		437	
固定負債合計	32,004	31.3	21,888	20.9	29,730	30.0
負債合計	58,625	57.4	53,013	50.7	53,206	53.7
(純資産の部)						
株主資本						
1 資本金	10,662		10,913		10,913	
2 資本剰余金	18,469		18,718		18,718	
3 利益剰余金	14,415		21,781		16,201	
4 自己株式	120		158		128	
株主資本合計	43,427	42.5	51,255	49.0	45,704	46.1
評価・換算差額等						
1 その他有価証券評価差額金	162		32		103	
2 繰延ヘッジ損益	-		1		-	
3 為替換算調整勘定	121		305		112	
評価・換算差額等合計	41	0.1	272	0.3	215	0.2
純資産合計	43,468	42.6	51,527	49.3	45,920	46.3
負債純資産合計	102,094	100.0	104,540	100.0	99,127	100.0

連結損益計算書

(単位 百万円)

区分	前連結第3四半期 (自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)		当連結第3四半期 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)		前連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	百分比
売上高	70,563	100.0	74,361	100.0	92,842	100.0
売上原価	53,122	75.3	58,100	78.1	70,518	76.0
売上総利益	17,441	24.7	16,260	21.9	22,324	24.0
販売費及び一般管理費	8,289	11.7	9,626	13.0	11,347	12.2
営業利益	9,151	13.0	6,633	8.9	10,976	11.8
営業外収益						
1 受取利息	50		76		79	
2 受取配当金	120		3,579		227	
3 負ののれん償却額	1,761		1,761		2,348	
4 その他	448	2,381	186	5,604	588	3,244
営業外費用						
1 支払利息	223		224		303	
2 為替差損	-		532		-	
3 その他	153	377	48	805	223	527
経常利益	11,155	15.8	11,433	15.4	13,693	14.7
特別利益						
1 退職給付制度移行時利益	-		368		-	
2 固定資産売却益	24		-		25	
3 子会社清算益	13	38	-	368	31	57
特別損失						
1 テナント退去補償費用	-		311		-	
2 固定資産除却損	179		137		197	
3 減損損失	-		29		-	
4 企業年金基金再編費用	445		-		445	
5 固定資産売却損	35	660	-	478	35	678
税金等調整前当期純利益	10,532	14.9	11,322	15.2	13,072	14.1
法人税、住民税及び事業税	103		1,470		148	
法人税等調整額	3,590	3,693	2,431	3,902	4,299	4,448
当期純利益	6,839	9.7	7,420	10.0	8,624	9.3

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 百万円)

区分	前連結第3四半期 (自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)	当連結第3四半期 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)	前連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)
	金額	金額	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
1 税金等調整前当期純利益	10,532	11,322	13,072
2 減価償却費	4,735	5,774	6,594
3 減損損失	-	29	-
4 のれん償却額	1,728	1,728	2,304
5 賞与引当金の増減額	-	691	1,408
6 退職給付引当金の増減額	266	2,149	575
7 受取利息及び配当金	171	3,656	306
8 支払利息	223	224	303
9 企業年金基金再編費用	445	-	445
10 退職給付制度移行時利益	-	368	-
11 テナント退去補償費用	-	311	-
12 子会社清算益	13	-	31
13 固定資産売却除却損	215	137	232
14 固定資産売却益	24	-	25
15 売上債権の増減額	1,827	3,238	41
16 棚卸資産の増減額	804	355	73
17 仕入債務の増減額	608	1,536	2,967
18 未払費用の増減額	373	-	-
19 その他	2,026	213	692
小計	12,361	7,362	15,038
20 利息及び配当金の受取額	47	4,168	61
21 利息の支払額	218	221	299
22 企業年金基金再編費用の支払額	445	-	445
23 テナント退去補償費用の支払額	-	311	-
24 法人税等の支払額又は還付額	181	106	211
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,564	10,891	14,142
投資活動によるキャッシュ・フロー			
1 定期預金の払戻による収入	121	-	121
2 有価証券の償還による収入	2,000	-	2,000
3 有形固定資産の取得による支出	6,342	11,058	9,681
4 営業譲受に伴う支出	940	-	940
5 有形固定資産の売却による収入	264	-	261
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,896	11,058	8,238
財務活動によるキャッシュ・フロー			
1 短期借入金の増減額	1,181	4,255	954
2 長期借入金の返済による支出	1,706	2,514	2,544
3 自己株式の取得による支出	26	29	34
4 配当金の支払額	-	1,813	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	550	102	1,624
現金及び現金同等物に係る換算差額	74	32	92
現金及び現金同等物の増減額	6,191	301	4,372
現金及び現金同等物の期首残高	19,579	23,952	19,579
現金及び現金同等物の期末残高	25,770	23,650	23,952

セグメント情報

1. 事業の種類別セグメント情報

前連結第3四半期（自平成18年4月1日至平成18年12月31日）

全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計額に占める「水晶機器製造」の割合がいずれも90%を超えているため、記載を省略しております。

当連結第3四半期（自平成19年4月1日至平成19年12月31日）

全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計額に占める「水晶機器製造」の割合がいずれも90%を超えているため、記載を省略しております。

前連結会計年度（自平成18年4月1日至平成19年3月31日）

全セグメントの売上高の合計、営業利益及び全セグメントの資産の合計額に占める「水晶機器製造」の割合がいずれも90%を超えているため、記載を省略しております。

2. 所在地別セグメント情報

前連結第3四半期（自平成18年4月1日至平成18年12月31日）

（単位 百万円）

	日 本	北 米	ア ジ ア 等	計	消 去 又 は 全 社	連 結
売 上 高						
(1) 外部顧客に対する売上高	70,507		55	70,563		70,563
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,939	311	20,572	26,823	(26,823)	
計	76,447	311	20,628	97,387	(26,823)	70,563
営 業 費 用	68,326	242	19,875	88,444	(27,032)	61,411
営 業 利 益	8,121	68	752	8,942	208	9,151

当連結第3四半期（自平成19年4月1日至平成19年12月31日）

（単位 百万円）

	日 本	北 米	ア ジ ア 等	計	消 去 又 は 全 社	連 結
売 上 高						
(1) 外部顧客に対する売上高	74,282		78	74,361		74,361
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,154	337	26,538	35,031	(35,031)	
計	82,437	337	26,617	109,392	(35,031)	74,361
営 業 費 用	76,870	259	25,669	102,799	(35,072)	67,727
営 業 利 益	5,566	78	947	6,592	40	6,633

前連結会計年度（自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日）

（単位 百万円）

	日 本	北 米	ア ジ ア 等	計	消 去 又 は 全 社	連 結
売 上 高						
(1) 外部顧客に対する売上高	92,754		88	92,842		92,842
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,803	450	27,588	35,843	(35,843)	
計	100,558	450	27,677	128,686	(35,843)	92,842
営 業 費 用	90,837	337	26,744	117,918	(36,052)	81,866
営 業 利 益	9,720	113	933	10,767	209	10,976

3.海 外 売 上 高

前連結第3四半期（自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日）

（単位 百万円）

	北 米	欧 州	ア ジ ア 等	計
海 外 売 上 高	5,480	5,957	32,848	44,286
連 結 売 上 高				70,563
連 結 売 上 高 に 占 め る 海 外 売 上 高 の 割 合	7.8%	8.4%	46.6%	62.8%

当連結第3四半期（自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日）

（単位 百万円）

	北 米	欧 州	ア ジ ア 等	計
海 外 売 上 高	4,821	5,413	38,305	48,540
連 結 売 上 高				74,361
連 結 売 上 高 に 占 め る 海 外 売 上 高 の 割 合	6.5%	7.3%	51.5%	65.3%

前連結会計年度（自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日）

（単位 百万円）

	北 米	欧 州	ア ジ ア 等	計
海 外 売 上 高	7,210	7,842	43,272	58,326
連 結 売 上 高				92,842
連 結 売 上 高 に 占 め る 海 外 売 上 高 の 割 合	7.8%	8.4%	46.6%	62.8%